

■ 5. 採点方式・配点・合格基準、合格発表など

■ 5-1. 採点方式・配点・合格基準

- (1) 採点方式については、全ての試験区分、時間区分において素点方式を採用します（午後Ⅱ（論述式）を除く）。
- (2) 合格基準は、各時間区分（午前、午後、午前Ⅰ、午前Ⅱ、午後Ⅰ、午後Ⅱの試験）の得点が全て基準点以上の場合に合格です。
- (3) 試験区分ごとの配点（満点）及び基準点は、表のとおりです。
- (4) 試験結果に問題の難易差が認められた場合には、基準点の変更を行うことがあります。

試験区分		時間区分	配点	基準点
情報セキュリティマネジメント試験（SG） 基本情報技術者試験（FE） 応用情報技術者試験（AP）		午前	100点満点	60点
		午後	100点満点	60点
	高度試験 プロジェクトマネージャ試験（PM） システム監査技術者試験（AU） データベーススペシャリスト試験（DB） エンベデッドシステムスペシャリスト試験（ES）	午前Ⅰ	100点満点	60点
午前Ⅱ		100点満点	60点	
午後Ⅰ		100点満点	60点	
午後Ⅱ		—	ランク A ¹⁾	
午前Ⅰ		100点満点	60点	
午前Ⅱ		100点満点	60点	
午後Ⅰ		100点満点	60点	
午後Ⅱ		100点満点	60点	
情報処理安全確保支援士試験（SC）	午前Ⅰ	100点満点	60点	
	午前Ⅱ	100点満点	60点	
	午後Ⅰ	100点満点	60点	
	午後Ⅱ	100点満点	60点	

注¹⁾ 午後Ⅱ（論述式）試験の評価方法について

- ・設問で要求した項目の充足度、論述の具体性、内容の妥当性、論理の一貫性、見識に基づく主張、洞察力・行動力、独創性・先見性、表現力・文章作成能力などを評価の視点として、論述の内容を評価します。また、問題冊子で示す“解答に当たっての指示”に従わない場合は、論述の内容にかかわらず、その程度によって評価を下げる場合があります。
- ・評価ランクと合否の関係は表のとおりです。

表 午後Ⅱ（論述式）試験の評価ランクと合否の関係

評価ランク	内 容	合 否
A	合格水準にある	合格
B	合格水準まであと一步である	不合格
C	内容が不十分である 問題文の趣旨から逸脱している	
D	内容が著しく不十分である 問題文の趣旨から著しく逸脱している	

- (5) 応用情報技術者試験、高度試験及び支援士試験では、次のとおり「多段階選抜方式」を採用します。

< 応用情報技術者試験 >

- ・午前試験の得点が基準点に達しない場合には、午後試験の採点を行わずに不合格とします。

< 高度試験、支援士試験 >

- ・午前Ⅰ試験の得点が基準点に達しない場合には、午前Ⅱ・午後Ⅰ・午後Ⅱ試験の採点を行わずに不合格とします。
- ・午前Ⅱ試験の得点が基準点に達しない場合には、午後Ⅰ・午後Ⅱ試験の採点を行わずに不合格とします。

- ・午後Ⅰ試験の得点が基準点に達しない場合には、午後Ⅱ試験の採点を行わずに不合格とします。
- (6) 午前試験又は午前Ⅰ試験から受験し、それ以降の時間区分を受験しなかった場合は、受験済みの時間区分だけを採点します。
- (7) 試験後及び合格発表後の個々の問題及び採点結果に対する問合せには応じられません。

■ 5-2. 問題冊子、解答例、採点講評の公表

次のスケジュール（予定）で、問題冊子、解答例、採点講評をホームページに掲載します。

試験区分	問題冊子	解答例		採点講評
	午前・午後	午前	午後	午後
AP、PM、DB、ES、AU、SC	試験当日中	試験当日中	12月下旬	翌年1月中旬

・SG、FEは問題冊子、解答例、採点講評の公表を行いません。

■ 5-3. 合格発表

- (1) 次のスケジュール（予定）で、合格者の受験番号をホームページに掲載します。試験結果の通知はありませんので、合格発表及び成績照会で確認してください。
- なお、後日、合格者の受験番号が官報に公示されます。

試験区分	発表時期
SG、FE	11月上旬
AP、PM、DB、ES、AU、SC	12月下旬

- (2) 経済産業大臣から、情報処理技術者試験の合格者に対しては「情報処理技術者試験合格証書」が、支援士試験の合格者に対しては「情報処理安全確保支援士試験合格証書」が交付されます。
- 合格証書の発送時期は、合格発表後、ホームページに掲載します。
 - 個人申込みされた方の合格証書は、受験票の住所に「簡易書留」で送付します。配達時に受取人が不在の場合は、郵便局で一時保管され、保管期間を過ぎるとIPAへ戻されます。再送費用は、合格者の負担になります。
 - 合格証書は、再発行できません。**合格を証明するものとして、「合格証明書」を交付することができます。詳しくは、ホームページをご確認ください。
- (3) 高度試験、支援士試験の午前Ⅰで基準点以上の成績を得た方には、午前Ⅰ通過者番号通知書を送付します。
- (4) AP、高度試験、支援士試験の合格者又は高度試験、支援士試験の午前Ⅰ通過者が、高度試験、支援士試験のいずれかの試験を受験する場合は、本人からの申請があれば、合格後又は午前Ⅰ通過後の2年間、それらの一部（午前Ⅰ試験）を免除します。詳しくは、ホームページをご確認ください。

■ 5-4. 成績照会

- 成績は、ホームページで照会できます。
- 成績照会及び成績のPDFファイル閲覧には、受験番号とパスワードが必要です。
- 受験番号とパスワードは、受験票①の下部に印字し、切り離せるようにしてあります。受験票①の下部の受験番号とパスワードは切り離して、紛失しないよう、また他人に知られないように十分注意して、保管してください。
- ホームページで成績が照会できる期間は、合格発表日から令和5年3月下旬までです。照会できる期間中に記録をお取りください。
- 受験番号、パスワードが分からなくなった場合、11月上旬から書類での調査依頼を受け付けます。詳しくは、ホームページをご確認ください。